

## 今だから必要なこと

校長 渡邊 研三

瞬く間に世界を覆った新型コロナウイルスの脅威。終息の見通しがつかない状況の中、挙行された卒業式で、私が卒業生に贈った言葉の一部を在校生諸君にも紹介しますので、このような混沌とした社会で力強く生き抜くためには何が必要かについて一人ひとり考えてほしいと思います。

一つめは「社会の問題点や課題を見抜く目をもつ」ということです。高度情報化、グローバル化が進んだ社会で鋭い洞察力をもつには、「知性を磨くこと」、「思いやりの心で、人の心に寄り添えること」、そして「社会貢献の意識」が大切です。最新の情報だけでなく、歴史・文化等幅広い教養を身に付け、視野を拓け、思考の基本を知り、主体的に学び続け、知性を磨いてください。同時に「思いやりの気持ち」と「使命感」をもつことで、正しい判断により社会の問題点を見出すことができ、人々が幸福に暮らせる社会づくりに貢献できます。

二つ目は、「百四十年の歴史を誇る猶興館高校の卒業生としての自信をもつ」ということです。県下の公立高校で、本校ほど設立理由が明確で、その理念が校名に表れた学校は他にありません。明治維新の混乱の中、平戸藩内の風紀の乱れを憂えた旧平戸藩主第三十七代松浦詮公は、人々の心を正すには教育の場が必要だと決断し、私財を投じて猶興書院を設立されました。まさに、本校は、教育を通して、社会全体を良くし、新しい国家形成に貢献するためにつくられた学校なのです。

現在、世界中で多方面にわたり混乱が生じ、人々は不安を抱えています。まさにグローバル化・高度情報化が進んだ社会で起きた、地球規模で取り組むべき問題の解決に直面しているのです。生徒諸君も、不確実な情報に惑わされず、正しい判断を下し、社会全体を考えた行動に移すことができるよう、本校生としての誇りを胸に自立・自発の「猶興精神」のもと、将来を見据えて学び続けることで今後の学校生活を充実させ、各自の道を切り拓いていってください。



## 合格者発表・合格者登校



令和2年度入学者選抜試験を経て、第75回生の合格者発表・合格者登校が行われました。期待と不安が入り交じる中で発表が行われ、たくさんの笑顔が咲き誇りました。

合格者のみなさんのご入学を、在校生、教職員一同心よりお待ちしております。



## 4月の主な行事

- 1日(水) 課題点検、教科書販売
- 8日(水) 入学式、始業式、新任式
- 9日(木) 実力考査、歓迎式
- 10日(金) 3年理系・理数科実力考査  
面談週間(～21日)  
全校一斉容儀指導
- 11日(土) スタディーサポート(1年)
- 16日(木) メディア安全指導講座
- 17日(金) スポーツテスト  
理数科歓迎ラボ
- 22日(水) 1年生宿泊研修(～24日)
- 28日(火) 歓迎遠足、学級役員認証式

## 5月の主な行事

- 1日(金) 中間考査時間割発表  
遠足予備日
- 11日(月) 理数科校内課題研究発表会
- 14日(木) PTA総会代休
- 15日(金) 中間考査(～16日)  
※1年は15日のみ考査、16日授業
- 16日(土) PTA総会(午後)
- 21日(木) 生徒総会
- 25日(月) 高総体前短縮授業(～29日)

※新型コロナウイルスの状況により、変更  
する場合があります。

※5月の行事については、変更や追加の  
可能性があります。4月号で再度ご確認ください



祝・入学



## 卒業おめでとうございます



3月1日(日)に第72回卒業証書授与式が本校体育館にて挙行されました。新型コロナウイルスの影響で、在校生は、吹奏楽部と送辞を読む2年1組北吉華美さんのみの参加となりました。

授与式では卒業生一人ひとりに卒業証書が授与され、普通科81名、理数科15名が本校を卒業しました。卒業生代表答辞では、3年2組の橋村優花さんが3年間の感謝の気持ちを伝え、保護者に見守られる中、思い出がたくさん詰まった学舎を巣立っていきました。

これからはそれぞれの道を自分の力でしっかりと歩んでいってください。

